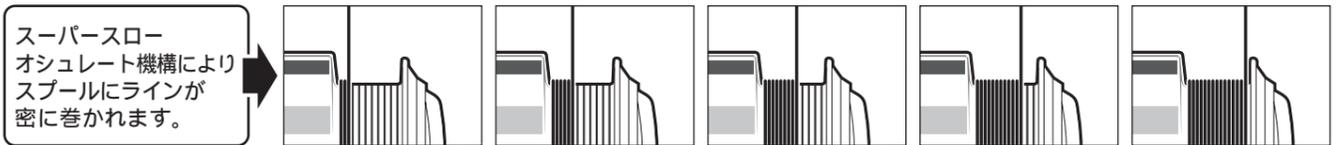


S 【S-SYSTEM】... SMOOTH・SILENT・STRONG を追求するために集結された独自の機構の数々。

スーパースローオシュレート（密巻機構）

密に巻かれたラインは、スプール前後のターン数が極めて少ないため、乱れず美しく放出されます。従来の場合と比較してエネルギーロスが少ないためこれまでにない遠投性を発揮します。それは同時に複雑なスプールの上下運動を落ち着かせ、巻くことの楽しさを生みだします。右のイラストはイメージ図です。



スーパーシップ SMOOTH & HIGH POWER SYSTEM

スムーズ&ハイパワーシステムとは...
従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPはよりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。
歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。
フローティングシャフト
ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたスプール軸とピニオンギヤの関係に、非接触部分を大きく取ることで摩擦を大きく軽減しています。
糸巻き形状の調整
スーパースローオシュレートの性能を引き出すためには、テーパのないフラットな巻き上げが効果的です。付属の調整用ワッシャを活用ください。（「操作方法」参照）

S-スプール
・アルミ合金コールドフォージング（冷間鍛造）で成型されたスプールは、マシンカットで徹底的に無駄な贅肉を排除しています。
・現在、各品番で想定される用途に合わせたスプールサイズ（スプールリング/ストローク）に設定しています。
S-ローター
コンパクトで糸がらみを防ぐ形状で構成されています。又、剛性を確保しつつ徹底的な軽量化を図っています。
S-アームカム
糸がらみを防ぐ三次元曲面で構成されています。
又、アームカム内側はラインスラックを最小限にとどめる形状にすることにより、ラインがアームカムから脱落するトラブルを軽減しています。
S-ガード
ローター、ボディの金属本体を、傷などのダメージから守ります。
パワーローラーIII
細糸でもヨレにくい新型のローラーを採用、さらにトラブルの減少を図っています。（下段「パワーローラーIII」の項を参照）

POSITIVE&FRICTION BAIL
ポジティブ&フリクションベール
ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに正確に行えます。
キャストの時にターンしにくく、適度なフリクションがかかるため、ローターが回転してベールがじゃまになりフェーザリング（サミング）の妨げになるのを防止します。
ウォーターブルーフドラグ
微調整が可能で操作性にすぐれたマイクロクリック機構付ウォーターブルーフドラグです。雨天や潮をかぶるなどの過酷な条件でもドラグ性能が変化しません。
その他の機能
スーパーストッパーII（ローラーベアリング1個内蔵）
アルミ合金コールドフォージング（冷間鍛造）スプール
バイオフィットグリップ
ボールベアリング6個内蔵
チタンコーティングステンレススプールリング

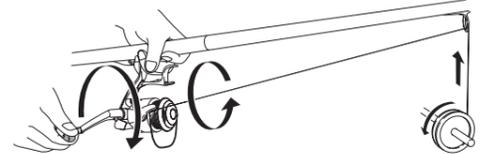
パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻きとる時に生じます。
そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻きとる時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラー」を採用。
ライントラブルの減少を図りました。 1
（当社比、基準による） 2



1 糸ヨレについて
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。
もともと糸がヨレている時。
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。
非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻きとる時。
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。
2 当社比、平均50%解消
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下（仕掛け、ルアー、巻きとり具合）で1日釣をしたということを想定したテスト（当社品質規格）を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

パワーローラーIIIご使用上の注意
「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。
1. 図のようにリールを竿に取り付けます。
2. 第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。
3. 糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。
4. それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。



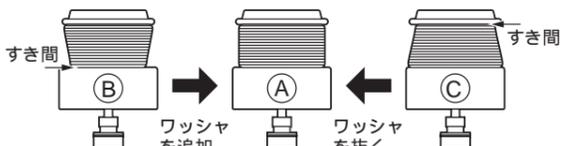
操作方法

糸巻き形状の調整方法

ツインパワーシリーズはそれぞれの番手の糸巻表示で150mぴったり巻ける太さのラインを巻いたときに、図(A)のようなテーパのない平行な糸巻形状になるように設計されています。
それより細い糸になる程逆テーパ(B)になりやすく、太い糸になるほど順テーパ(C)になりやすい性質があり、いずれの場合もライントラブルの原因になりやすいものです。付属の調整ワッシャによりなるべく(A)に近い状態に巻き上げていただくことをお勧めします。
調整方法は以下の手順です。

メーカー出荷時はスプールワッシャを3枚装着しており、付属の調整ワッシャは0.5mmが2枚、0.25mmが2枚です。

- (A) 理想とする糸巻形状（糸巻表示で150mぴったり巻ける太さのラインを巻いた場合）...スプールワッシャ3枚装着が標準
- (B) 逆テーパでスプール下端にすき間を生じる（Aより細い糸になる程なりやすい）...スプールワッシャ3枚にワッシャを追加する
- (C) 順テーパでスプール上端にすき間を生じる（Aより太い糸になる程なりやすい）...スプールワッシャ3枚からワッシャを抜く



リールが水没し、リール内部に浸水した場合のメンテナンス

万が一、リールが水没してしまいリール内部に浸水した場合は、釣具店を通じて弊社アフターサービスへ修理を依頼して頂くか、又は、下記の手順で水を抜くようにして下さい。

図のようにオイルインジェクションのキャップを外し、その部分の下になるようにして水を抜き、十分に乾燥させた後シマノ純正リールオイルスプレー（リールメンテナンススプレー：SP-003H）を注入して下さい。

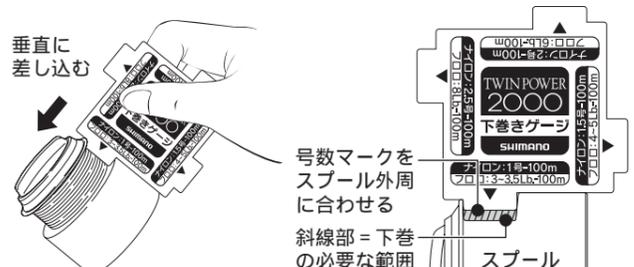
注意 取付ネジは締め過ぎないように注意して下さい。（締付トルク9.8～19.6N/cmが適当です。）

下巻きラインゲージの使用法

付属の下巻きラインゲージを使うことで、好みの太さの糸を選んで巻くときに、どこまで下巻きが必要なかを簡単に知ることができます。それぞれの機種に、最も組み合わせることの多い4種類のパターンを用意しました。（ラインの銘柄により若干の誤差が出ることがあります。）

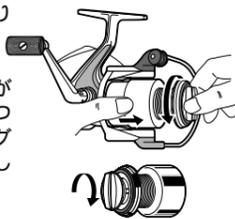
1. 下図のように付属のゲージをスプールに垂直に差込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。
2. スプールとゲージの間にできたすき間（図の斜線部）が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。

1000SDHにはラインゲージは付属していません。



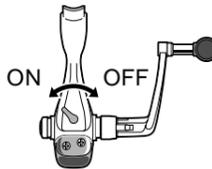
スプールの脱着方法

取りはずし方
ドラグツマミを反時計回りにまわしてください。
取りつけ方
スプールをゆっくり回しながら、スプール軸が完全につきぬけるまで入れ、ドラグツマミを時計まわりに回して締めつけてください。



ストッパーツマミの操作

リール後ろから見てツマミが左に倒れている時（ON）逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻取りやドラグで魚とやりとりする時に使用します。
同様に、ツマミが右に倒れている時（OFF）逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。



ハンドルの左右付け替え方法

1. 防水キャップを取りはずし、ハンドル根元を固定しているネジをはずします。
2. ハンドルと防水キャップを左右に入れ替え、ネジを締め直して下さい。

注意
ハンドルの左右付け替え時、ハンドル固定ボルトの取り付け取りはずしする際、ボルトのマイナス溝に合ったマイナスドライバーをご使用下さい。大きいコインなどを使用するとリール本体塗装を傷つける恐れがあります。

ドラグの調整方法

ドラグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

1. 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通してください。
2. ストッパーONの状態、図のように糸を引き出しながら、ドラグツマミの締めつけを調節してください。ドラグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。
3. 通常は糸切れを起こす寸前の力でスプールが空転し、糸が出ていくように調節してください。また遠投などする時は、必ずドラグをよく締めつけてから投げるようにしてください。ドラグが滑って糸で手を傷つけることがあります。



糸止めベルト

とめ方
図のように付属の糸止めベルトをスプールの糸巻き部にかぶせて糸を止めてください。



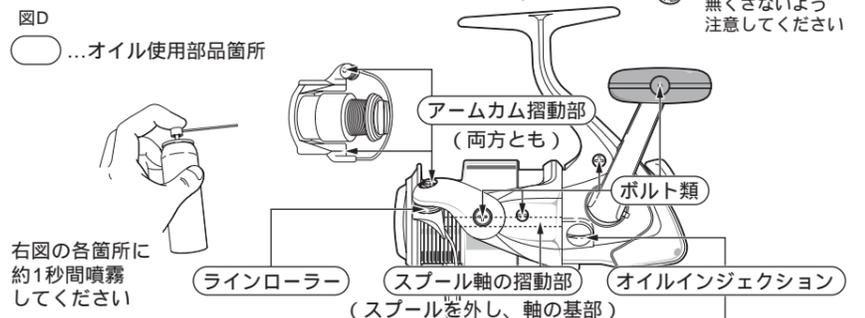
メンテナンスの方法（オイルインジェクションで簡単・安心）

通常使用後は1.2.の水洗いと乾燥だけで十分です。およそ5回の使用に1回、また次のご使用までに1ヶ月以上の期間があく場合は、3.の注油を併用するとより効果的です。オイルインジェクションの採用で、リール内部へのオイル供給も容易です。

1. 水洗い...シャワー等の真水で水洗いしてください。リールに付着した塩分、汚れを洗い流します。図A
温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流さない事が必要です。
2. 乾燥...しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。図B
直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。水を切り、乾燥させる際にオイルインジェクションのキャップを外しておくより効果的です。図C
外したキャップは無くさないよう注意してください。
3. グリス、オイル噴霧...グリス噴霧箇所とオイル噴霧箇所は図Dを参照していただき、間違えないように噴霧して下さい。グリス、オイルはシマノ純正品（別売・下記）をお使い下さい。

シマノ純正リールメンテスプレー（SP-003H）¥1,700

リールグリススプレーとリールオイルスプレーの2本セット販売です。小売店にてご注文ください。
注油の際は、オイル、グリスが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。



オイルインジェクションへの噴霧は...
マイナスドライバーでキャップを外し、オイルスプレーを注入して下さい。（右図）1回の注入は約1秒までの噴射が適当です。
注入しすぎるとあふれたオイルで衣服等を汚すおそれがあります。オイルスプレーの注入が終わりましたらオイルインジェクションのキャップは必ず装着して下さい。

お願い
グリス、オイル類はシマノ純正品（別売）をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご留意ください。
注意
ドラグ部のお手入れには、リールドラグ部専用グリス（DA）をご使用ください。お取り寄せは最寄りの販売店へご注文ください。

ワンタッチハンドルの折りたたみ方法

ハンドルをたたむ時は、ワンタッチボタンを押して、手前に倒して下さい。ハンドルをのばす時は、たたむ時と逆にします。

